

ハートフル

かみす



● Dec.2008 ●

Vol.8



PHOTO

「さあ!みんなで1・2・3!」

— オリジナル体操「ふかふか体操」を
家族と楽しく行う児童たち

9月13日 深芝小学校大運動会にて —

CONTENTS

- 特集:座談会
「男女共同参画社会の実現に向けて」 P2~3
- 日本女性会議2008とやま P4~5
- 輝く男女たち P6
- ハートフルお婆ちゃんのひとこと
女性総合相談 P7
- 風景・編集後記 P8

——『ハートフルかみす』は、男女共同参画社会をめざすための情報誌です——

男女共同参画社会の 実現に向けて

特集 座談会

昨年施行された「かみすハートフルプラン」の男女共同参画審議会委員4人の方に、それぞれの立場で実践しておられることや今後の目標などを話し合っていました。地域において男女共同参画社会をどのように実現していけばいいかについて、読者の皆さんにも考えていただけるきっかけになればと思います。

【出席者】

原 範子さん(女性農業士)
柳川隆則さん(自営業)

関根邦彦さん(元行政委員)
鈴木清香さん(P.T.A)

《司会》 今回の座談会は編集委員全員で担当しました。神栖市には「ハートフルプラン」という素晴らしい施策があり、市民として、行政への期待、そして実現に向けてどのように協働していくことができるかなどを皆さんに自由にお話していただきたいと思っています。

市民としての参画

《原》 農業や水産業の分野では、比較的男女共同が遅れていると言われています。

しかし、内助の功という言葉があります。農家では奥さんは、よく話をし、農作業を進めている感じがします。私の家でもそうですが、お互いに意見を出し合い、パートナーとして協力しながら、男女共同参画を実践しているんです。一方、地域では、まだまだ家長制度が残っているようで、女性の社会参画が進んでいないような気がします。私が委員ですが、特に農業分野での女性委員が少ない状況にありますので、その辺をアピールしていきたいと思っています。



原 範子さん(会長)

《関根》 夫婦共に元教職の立場だったんですが、今の学校の現場や家庭の様子を見ていると、時代が変わったなと感じています。結婚当初は家事も手伝ったりしましたが、段々、仕事人間になってきて今は反省しています。現役の世代の人たちをどのようにサポートすればいいかを考えることが我々の世代の課題かなと考えています。



関根 邦彦さん(副会長)



柳川 隆則さん

《柳川》 鹿島開発の頃から、いい意味でも悪い意味でも、この地域も変わってきましたね。忙しい生活のなかで、家族が話し合う機会が少なくなってきたり、食事を一緒にすることさえ、難しくなりましたね。ハートフルプランの内容を読んだときに、今更という印象を受けましたが、やはり、現実問題として男女平等が実現していないのが現状なのだと感じました。

《鈴木》 子育ての真只中で教育の現場を見て感じることは、やはり子育てが母親任せになっていて、父親が少ないですね。共働きの家庭が増えているわけですから、育児やP.T.A活動に対しても、夫婦が協力し合っていることが大切だと思います。



鈴木 清香さん

《司会》 家庭のバターンやライフスタイルによって共同参画のスタイルが変わりますが、皆さんそれぞれ時代の変化に合わせて上手に舵を取っておられるようですね。今後、行政との協働で期待したいことは何でしょうか。

行政に望むこと

《鈴木》 神栖市は、他の市町村に比べると柔軟性があって、チャレンジ精神旺盛で、市民の声に耳を傾けてくれているような感じがするんですね。ですから、市独自の、何か全国に発信できるような、あるいは、県でも先進的なモデルとなるようなことができれば、期待しています。その突破口を行政に期待したいです。

《原》 鈴木さんの言われる突破口というか、やはり、市民からの意識改革をどのようにすればいいかということでしょうね。啓発活動を市民協働でやるのが最善かなと感じます。例えば、男女共同参画条例にしても、行政区の回覧だけではなく、形のある市民に見える何かを発信して意識付けをするとか。

《柳川》 原さんのおっしゃる通り、形になったものは大事ですね。例えば、P.R用の簡単なDVDやV.T.Rなどを製作したり、市内のいろんな団体、商工会や青年会議所、ライオンズクラブなどを活用したり、他の市町村の成功事例なども参考にしますね。

《関根》 啓発活動は確かに大切ですね。社会にはいろんな場、人間が集まる場所がありますね。学校だったり、会社だったり、P.T.Aだったり、社会活動だったり、そういう組織を通して情報は伝達できますから、啓発活動を行政からの働きかけによって、市民が展開するというのが理想的ですね。



実現のイメージ

《原》 最初にもお話ししたとおり、私の家ではお互いに意見を出し合いパートナーとして協力しています。やはり、男女という性別よりも家庭での役割分担がポイントではないでしょうか。もちろん、お互いの人権を尊重して、社会のあらゆる分野で個性と能力を発揮できるように地域づくりを目指していくのが男女共同参画社会ではないかと思っています。

《関根》 私が結婚した当時と今はずいぶん変わりましたね。時代と言えば時代なんでしょうが、教育の現場でも出席簿など男女の性別はなくなりましたし、若い夫婦の間では私の頃ではあり得なかったこと、例えば、洗濯を一緒にしたり、料理を一緒に作ったりとかが普通になってきています。何十年もかかって、徐々に今のようになってきたので、自然の流れのなかで変化が出てくるのがいいのかなと思います。

《柳川》 私は正直、男女共同参

画という言葉聞いたとき、何を今更、という感じをもったんですね。私たちの世代は民主主義の中で育つてきて男女平等に選挙権もあり、政治に参加している女性も多いし、どうしてこんなことが出てきたのかなと正直思いました。それで、「ハートフルかみす」などを読ませて頂いて、まだまだ、昔の封建的な文化に苦しめられている人が残っていることに気づきました。私は中小企業の経営者ですが、女性の能力は非常に大事で、そういう女性の資質や能力を活かすために「男女共同参画社会」は大切で、そのような社会の実現のための応援が現在、市で実施しているいろんな施策だと理解しています。

《鈴木》 実現に向けては、農村漁村、商業地などという地域性を考慮する必要がありますよね。また、行政の中においては女性職員や女性議員が少ないですね。これからは、もっと女性を活用して意見をどんどん取り入れていたほうがいいと思うのです。家庭の中でもご主人が威張っているほうが円満にいくというか、ちょっと言いすぎかな、そんな気がします。(笑)



編集スタッフの感想

◆司会 発表された皆さんの内容が充実していて、それぞれに感じることや考えることがあり、改めて審議会委員さんの認識の深さや責任感の重さを実感しました。

◆記録 想像以上に審議会委員の皆さんがご意見を発表され、記録が追いつかない程でした。大変勉強になりました。お父さん・お母さんの先輩である方々が熱心に話されている姿を見て、小さな子どもを持つ母として大変感動し、嬉しく思いました。

◆カメラマンA カメラマンとして参加して、被写体を良いアングルで撮ることのむずかしさを実感しました。

◆カメラマンB 皆さんの「男女共同参画社会」に対する思いやその実現に向けての熱心な姿勢が、ファインダーを通してヒシヒシと伝わってきました。素敵な笑顔写真をおさめるのが、難しかったです。

- 神栖市 男女共同参画審議会 委員紹介(敬称省略)
- 【会長】 原 範子
 - 【副会長】 関根 邦彦
 - 【委員】 大高 達也
 - 【委員】 高須 静香
 - 【委員】 鈴木 孝
 - 【委員】 小田倉 豊
 - 【委員】 伊奈 壽子
 - 【委員】 菅谷 久子
 - 【委員】 金井 信行
 - 【委員】 柳川 隆則
 - 【委員】 篠崎 明
 - 【委員】 尾崎 桂子
 - 【委員】 丸野 和美
 - 【委員】 鈴木 清香
 - 【委員】 野村みさ子

シンポジウム



女性の子育て支援が重要と語る高橋氏



コーディネーターとシンポジストの皆さん



社会システムから見た
男女共同参画を語る鹿嶋氏



伝統芸能「越中おわら」を披露

私は、10月17日、18日富山市のオーパード・ホールと富山国際会議場で男女共同参画の推進を目的とする「日本女性会議2008とやま」に参加しました。

この会議は、男女共同参画にかかわる国内最大級のイベントで、全国から約2,500人の参加で盛大に幕をあげました。

開会式では園児によるベルパフォーマンスと富山を代表する伝統芸能「越中おわら」でもてなしをうけたあと、坂東久美子氏（内閣府男女共同参画局長）の基調報告が行われました。

交流会



「薬売り」のパフォーマンス



熱唱する高原兄氏
(作曲家・元アラジン)



呈茶〜お茶を一服どうぞ〜

2日目、午前は分科会。坂東眞理子氏（昭和女子大学学長）、樋口恵子氏（東京家政大学名誉教授、室井滋氏（女優）などを迎え、テーマに沿った講演やパネルディスカッションが各会場で開かれました。

来年は大阪府堺市で開催されます。あなたも参加してみませんか？

「日本女性会議」には、神栖市男女平等に関する研修事業参加者補助金により、参加者の参加経費等の一部を助成しています。



自然のすばらしさを
伝える加藤氏

午後は、加藤登紀子氏（歌手）を招いて、「土のひびき」と題して記念講演があり、鴨川自然王国での暮らしの中で得た自然の偉大さについて話し、最後は歌で締めくくり、会場はおおに盛り上がりしました。

閉会式では、来年開催地の堺市（大阪府）からのアピールがあり、2日間にわたった日本女性会議は閉会しました。



映画鑑賞を交えての室井氏と
本木克英氏（映画監督）のトーク
— 第7B分科会 —

《分科会》

【第1分科会】子育て
少子化時代の子育てと教育

【第2分科会】食
今、食文化を考える

【第3分科会】性・性差
性差からの開放

【第4分科会】歴史
歴史を生きた人々

【第5分科会】福祉・介護と超高齢社会
日本の福祉を変えた3人の女

【第6分科会】国際社会とメディアの
役割

【第7A分科会】女性と表現A
女性の品格

【第7B分科会】女性と表現B
映画の中の女性たち

【第8分科会】ワーク・ライフ・バランス
仕事と生活の調和

【第9分科会】政策決定における
男女共同参画

【第10分科会】政策への参画
政策への参画

【第11分科会】科学
科学へのチャレンジ

【第11A分科会】豊かな地域づくりA
街なか暮らしの愉しみ

【第11B分科会】豊かな地域づくりB
人が生み出す、地域がつながる

【第12分科会】健康
女性の健康向上をめざして

【第13分科会】くらしと環境
地球環境と市民の取組み

日本女性会議2008とやま

研修レポート 菅原 貴代子さん（波崎）

煌く人とひと、連なる峰々へ

市民と行政がパートナーとなり、共に学び、語り合い、交流しながら、男女が性別や世代を超えて共に支え合う社会を目指し開催される会議。

問いかけて締めくくりました。

さらに基調講演を受け、鹿嶋敬氏（実践女子大学人間社会学部教授、高橋はるみ氏（北海道知事）、岩田喜美枝氏（資生堂副社長）を交えたシンポジウムが行われ、それぞれの立場から、男女のパートナーシップのあり方、ワーク・ライフ・バランスや男女共同参画について意見を述べ、

シンポジウムは終了しました。

夕方から、富山運河環水公園に隣接した富山市総合体育館で交流会が開かれ、地元の食材を使った料理を堪能しながら、薬売りのパフォーマンスや富山市長を加えたジャズバンドの演奏などで和やかなときを過ごしました。



基調講演をする広岡氏

輝く男女たち

生きる力を与えられて

豊住 昌弘さん(大野原中央)

今回は11月30日に行われた「男女共同参画かみす市民フォーラム」の市民フォーラム実行委員の一員の豊住昌弘さんに登場していただきました。

交通事故に遭って

我が家は自家用車が1台しかなく、自分の運動力向上のためと妻の負担を減らすために、自転車通勤していた。

昨年3月、仕事を終えて職場の同僚に「明日、車にはねられるかも、だからヨロシク!」と話していた。

次の日の早朝、現実になった。

その日から怪我が治るかと不安な日々を過ごしている私が、毎日家にいることで、妻がイライラしたり、子どもたちも変な緊張感を持っていることを肌で感じるようになった。

事故以来、休職状態だった私は、今年の8月、職を失った。人生の歯車がかみ合わなくなってしまった。

家事手伝いをして

そんなある日、ことわざ辞典の中の「人間万事塞翁が馬」に目が留まった。不慮の事故で怪我をして大黒柱ではなくなった私だが、「主婦の主夫って主人の主でもあるやん」と考えてみた。左手、腕、両足は使える。怪我の負担にならない程度に「主夫の家事手伝い」をやるかと決心した。

徐々に夫婦仲も修復できた。子どもたちは、まだ...

緊張感は...?

馬鹿にされているかな?

家事手伝いをして「家族のみんなの笑顔が最高」と感じるようになり、命があつて本当に良かったと思っている。



夢の続き

大好きな言葉がある。「将来、リーダーを目指すのであれば、部下でいる間はひたすらフォロワーシップ(参謀に徹すること)を磨くこと。人は支えられて、そして支える」...7年前に長男がサッカー少年団に入団した時10代の頃からの夢であったコーチとしてゴールデンエイジの子どもたちを指導したが、卒団すると同時に私の夢は中断してしまった。今、教える子たちは高校1年生。サッカーを続ける子、別の道を歩



長男のサッカー部を指導・手伝い

幸せのライフプラン

家族の笑顔が最高と思える日々がこれからも続いて、私の夢を輝かすことができるように今は、「主夫の家事手伝い、左手にエプロンかなうでも、明日は「マンガ」ROKIESのセリフじゃないけれど、夢にときめけ、明日にきらめけ」と社会復帰目指して日々、自分を磨いて輝いていきたい。



一家だんらん

感じた! 気づいた! 男女共同参画社会

ハートフルお婆ちゃんの“ひとこと”のコーナー



ちいちゃ子どもの肌は
やくこくて、気持ちええなあ。
ハグ、ハグと手えく出して
催促すつとよ、
ニコニコ笑つてよ、かわええなあ。
子どもつてよ、親のスキンシップが
でえすぎだお。
1日になんけい、抱いてやつてつか。
忙しゅうて、肌をふれることも
ねえのか。

神栖市女性総合相談

～ひとりで悩んでいませんか? そんなあなたの悩みをお聞きます。～

★面接相談(要予約)

【神栖地域】

第1、3、5火曜日 13:00～16:00

【波崎地域】

第2、4火曜日 13:00～16:00

◎予約 ☎ 0299-90-1178(市民協働課)

※年末年始を除く、平日9:00～17:00

原則予約制ですが、随時受付します。

相談会場については、予約の際お問合せください。

★電話相談

第1、3、5火曜日 13:00～16:00

◎専用 ☎ 0299-91-1236

家庭や職場、地域などで女性が直面するさまざまな問題について、専門の女性相談員が解決に向けてともに考えます。

例えば、夫婦・恋人・家族の問題、子育て、近所・職場・学校での人間関係、身体や性に関することなど。

悩んでいることを一つずつ整理し、誰かに聞いてもらうことで、心が少しでも軽くなるかもしれません。

秘密は厳守されます。お気軽にご相談ください。

(相談無料)



おすすめの本

子どもからおとなまで世代を超えて楽しめる絵本の紹介です。家族一緒に絵本の世界に旅立ってみませんか。



「ビロードのうさぎ」
マージェリー・W・ピアンコ原作

いつもぼうやと一緒に過ごしていたビロード製のうさぎのぬいぐるみ。突然、ぼうやとお別れのときがやってきます。その時、ビロードのうさぎに不思議な出来事が。84年にも読み継がれている絵本です。
(ブロンズ社)



「わすれられないおくりもの」
スーザン・バーレイ作/絵

年老いたアナグマは、長いトンネルの向こうに行くけれど悲しまないようにと手紙を残して死んでしまいました。大切な友を失ったみんなは、どう悲しみをのり越えて行くのでしょうか。人間の生き方を静かに語りかけています。(評論社)

風景



波崎灯台跡公園 ー波崎東町地区ー(みはらしワンパーク)

知らなかったこんな場所
まだ行ってなかったあんな所
散歩で見つけた素敵な所
そんな市内の様子を紹介します

波崎灯台跡公園の場所には、銚子に入ってくる船の安全を守るため、波崎灯台がありました。この灯台は沿岸に位置していましたが、周辺地区の埋め立て整備が進み、海岸線から離れたため、沿岸灯台としての機能が低下したことや、老朽化が激しくなったことから、平成8年12月運転を停止しました。その後、平成20年3月に波崎灯台跡公園として生まれ変わりました。

この公園は、ゆるやかな坂を上ると中心には展望塔があり、



鹿島灘や利根川が一望でき、公園内には遊具も設置されています。市民の交流の場所として、また災害時には、一時避難場所として利用していただくためのものです。

ぜひ、展望塔に上ってみてください。



谷渡り遊具

イベント情報

【公開講演会】

「愛と平和

命の重みを考える」

映画監督 井筒和幸

《日時》

平成21年1月25日(日)
午後2時〜午後4時

◎会場・問合先

レイクエコー

茨城県女性プラザ

【TEL】

0299(73)2300

*月曜除く午前9時から

午後9時まで

【FAX】

0299(73)3925



みなさんの声を
お寄せください

女性と男性がともに手をとって、新しい地域社会づくりに活躍されている方やグループ、また、取り上げてほしいニュースなどありましたら、ぜひお寄せください。お待ちしております。



《編集後記》

「ハートフルかみす」の編集を通して、人との出会いや新しい発見に感動しました。これから色々な情報をお届けできるよう頑張っていきたいと思います。

— お詫びと訂正 —

ハートフルかみすFeb. 2008 Vol.6(平成20年2月号)最終頁「風景」のコーナーの各写真の説明文で「かもめ公園から犬吠埼を望む」とありましたが、正しくは「かもめ公園から銚子沖を望む」です。お詫びのうえ訂正させていただきます。